

2019年度 ささりんどう祭 生徒会活動報告書

活動日：10月25日(金) 校内発表日 10月26日(土) 一般公開日

報告者：生徒会 3年 川原 2年 三浦彩 1年 三浦果

補筆 武田 校正 荒川 伊藤

◆ 今年のささりんどう祭テーマ：「アドベンチャー」



◆ 生徒会活動内容

1. ブルキナファソについての展示

生徒会では生徒総会で提案した「ブルキナファソ支援」を継続して活動しています。しかし未だに全校生徒のブルキナファソに対する認知度は低いのが現状です。従いまして、今回のささりんどう祭でも「ブルキナファソ」をいろいろな方に知って頂くために展示活動を行いました。

2. 生徒会バザー

生徒会では、数年前よりバザー用の物品を集めています。バザーで販売して売り上げたお金は、主に募金活動や、生徒会でやるプロジェクトの活動資金にしたりしてきました。昨年は、生徒会の人数不足で行えませんでした。今年はこのプロジェクトを1年ぶりに復活させることができました。今回のバザーの売り上げは4,600円でした。このお金は、アンテナショップの売り上げとともにブルキナファソ支援の資金として使わせて頂きます。ご協力ありがとうございました。

3. 衣笠アンテナショップ

生徒会では、2012年からこの企画を行ってきました。この企画は衣笠商店街のお店をいくつかリストアップして、その商品を三浦学苑生や来場者の方に知っていただくというものです。主に食品がメインになります。今回は、「横須賀コロッケ」・「デリカキング」・「永治堂」の3店舗を紹介させて頂きま

した。今回の売り上げ利益は3,460円でした。バザーとの合計8,060円は前述のようにブルキナファソ支援の資金として大切にに使わせて頂きます。ありがとうございました。

◆ まとめと感想

1. スピーチコンテストで得たもの

初めてのささりんどう祭、初日に私はスピーチコンテストに出場しました。当日まで長いようで短い準備の中、原稿を見てくださった先生方に助言を頂きながら当日を迎えることが出来ました。ステージに立って自分の意見を表明するというのは、その準備と当日のステージでの経験から自分の考えの甘さや、時間の使い方の認識の無さや、自己判断すべきところとそうではないところの曖昧さなど、多くの反省する点を得ることになりました。先生方にご迷惑をかけたと申し訳なく思い、同時に感謝の気持ちでいっぱいになりました。もとより反省ばかりでしたが、今回私がお話しした事が誰かの心に響き、考えるきっかけになればと思います。ちなみに私で生徒会役員は6年連続スピーチコンテストに登壇いたしました。伝統というほどのことはありませんが、記録を繋げたことは私の誇りです。今回のこの期間での経験を記録に残し、毎日の生活に活かせるように吸収し活用していきたいです。言葉だけではなく行動と気持ちで示せるようになるのが今後の私の1つの目標です。なお生徒会としては、スピーチコンテストの裏方の仕事としてビデオ撮影を担当し、記録を残す活動をいたしました。



記：生徒会1年 三浦果穂

2. 全体を通しての感想

今年度、私は、会長よりささりんどう祭での生徒会ブースの担当長の指名を頂きました。そして責任を感じつつ、全体がうまくいくよう企画し運営を行ってきました。今年度は、昨年行うことができなかった「アンテナショップ」と「生徒会バザー」を復活させ、3年連続となる「ブルキナファソ展示」を行い、生徒会ブースを盛り上げられるように頑張っていました。しかし一学期から取り組んではいたものの、直前になって準備不足が目立ち始め、私が思うほど企画が上手くいかず、不完全なまま当日を迎えてしまい、多くのお叱りを受け、先生方にご迷惑をかけてしまいました。私の力不足ではありましたが、後輩役員たちには今年の活動をベースに色々感じたことがあるはずです。その思ったことをしっかりと活かし来年のささりんどう祭を今年よりもよいものにしてほしいと希望してやみません。

記：生徒会3年 川原優太

3. スマホの許可と今後の生徒会

今回のささりんどう祭でスマホの使用許可が許されたため、とても作業がしやすかったです。また、去年できなかった「衣笠商店街アンテナショップ」も行うことができ、充実した2日間でした。

生徒会は今年度、「アンテナショップ」・「ブルキナファソ展示活動」・「生徒会バザー」の3つのことを行いました。去年に比べ仕事は増えましたが、生徒会役員も増えたことで運営が多少楽になり、とてもいい経験になりました。ただ、増えた人員を有効に動かすための指示や、工程の提示では、うまくいかず、来年以降の課題となりました。来年度は今年よりいいものにできたらと思います。

記：生徒会2年 三浦彩夏